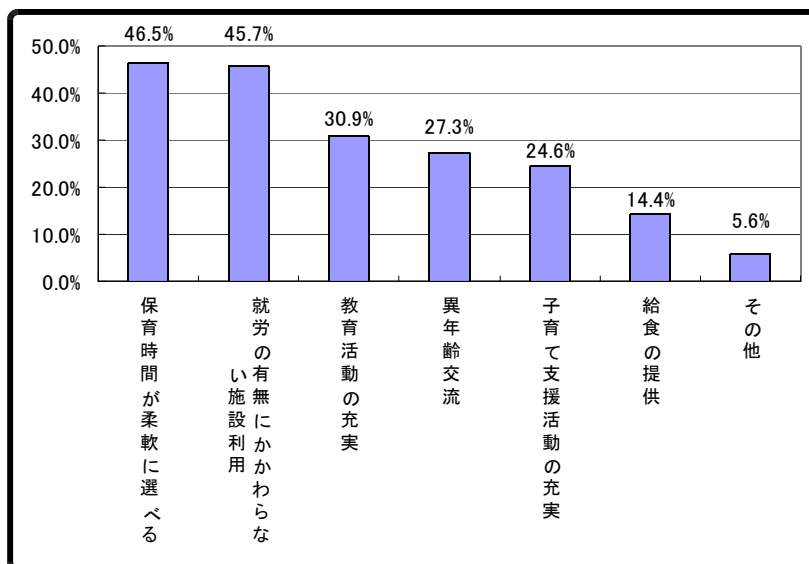


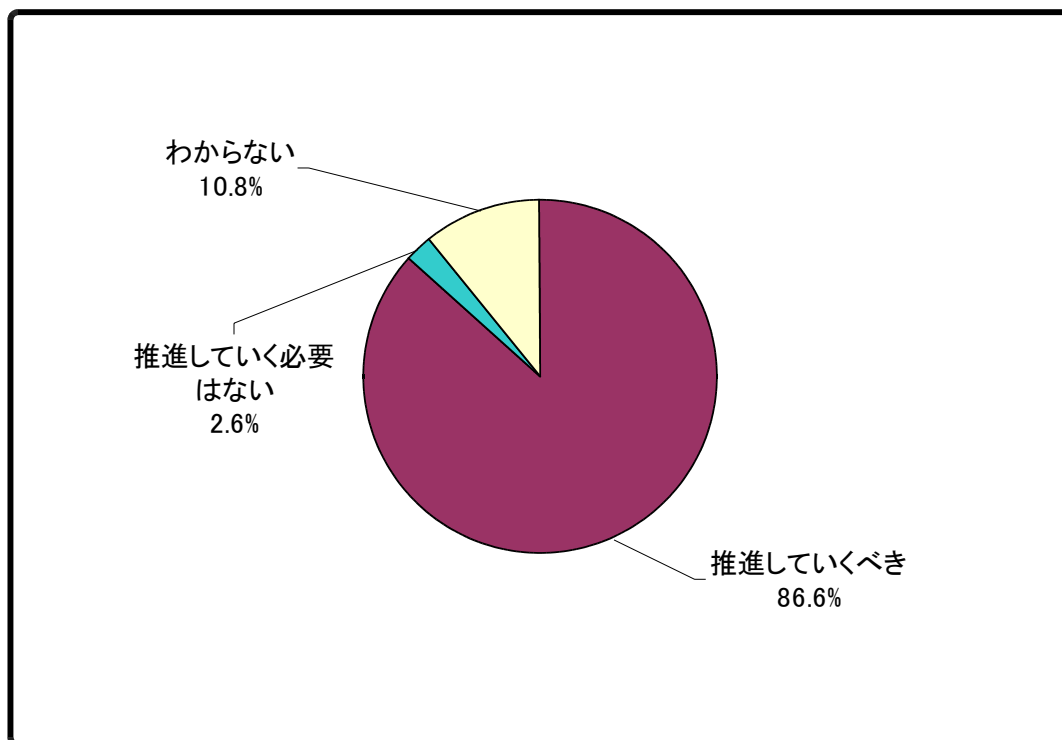
(2) 評価している点について（複数回答）

具体的には、「保育時間が柔軟に選べること」、「就労の有無にかかわらずな施設利用」や「教育活動の充実」などの点が評価されている。



(3) 今後の認定こども園制度のあり方について

回答のあった保護者の9割近くが、今後とも認定こども園制度を推進していくべきとしている。



2 認定を受けた施設に対する調査の結果について

- 認定こども園の認定を受けた施設の9割以上が、認定を受けたことを良かったと答えている。
- 具体的には、「子育て支援活動の充実」(特に幼稚園型)、「就労の有無にかかわらずな受入れ」(特に保育所型)、「教育活動の充実」などを挙げている。
- しかしその一方、行政が取り組むべき課題として、「文科省と厚労省との連携」、「財務状況の改善」、「会計事務処理の簡素化」などが挙げられている。

(1) 認定こども園の認定を受けた理由について(複数回答)

5割以上の施設が認定を受けた理由として、「子育て支援活動の充実」と、「就労の有無に関わらない受入れ」を挙げている。

類型別に見ると、幼稚園型では「子育て支援活動の充実」が、保育所型では「就労の有無にかかわらずな受入れ」がそれぞれ一番多く挙がっており、認定こども園制度の趣旨や特色を反映した回答となっている。

地方裁量型については、「新たな財政支援」や「社会的信用の向上」が多く挙げられている。

